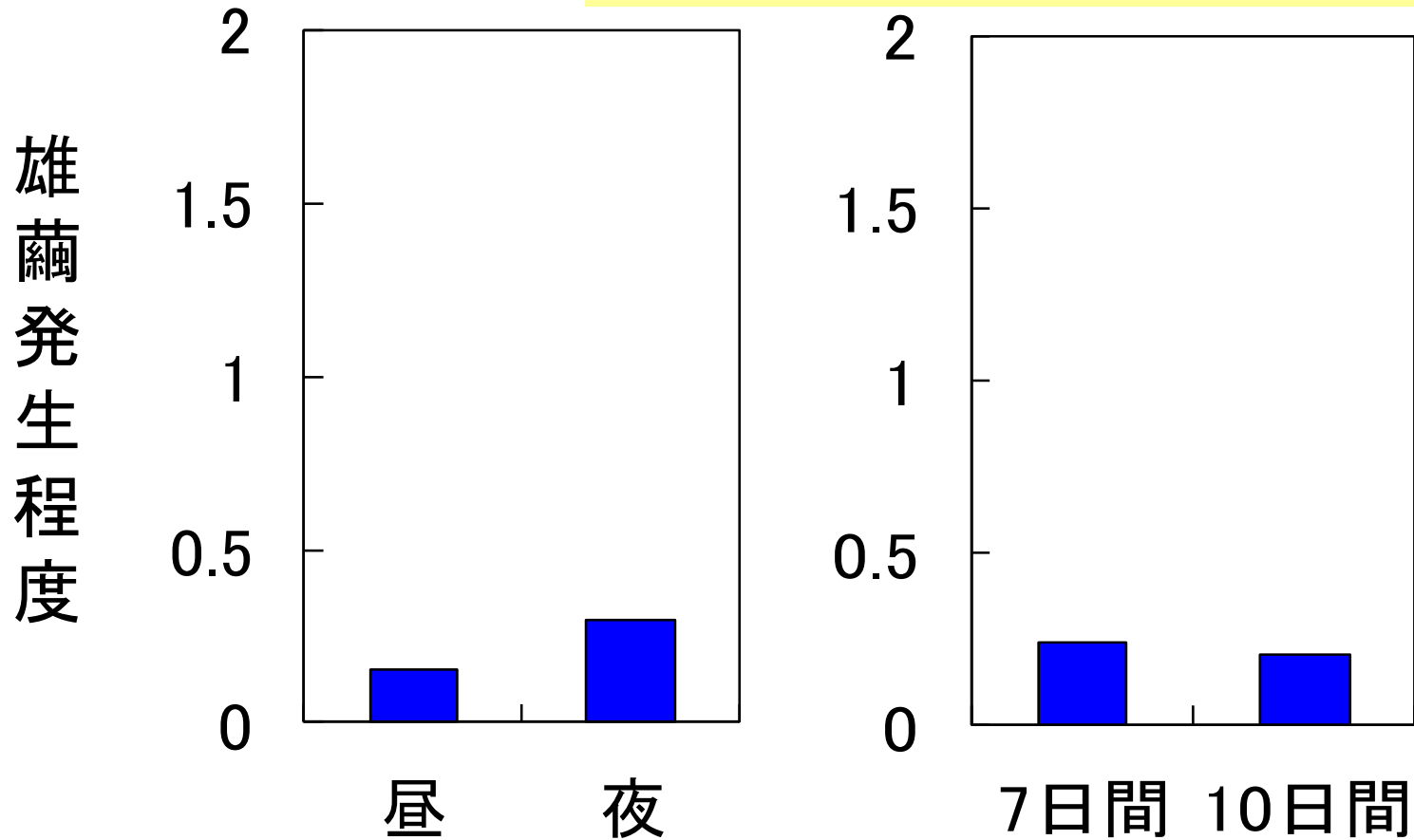


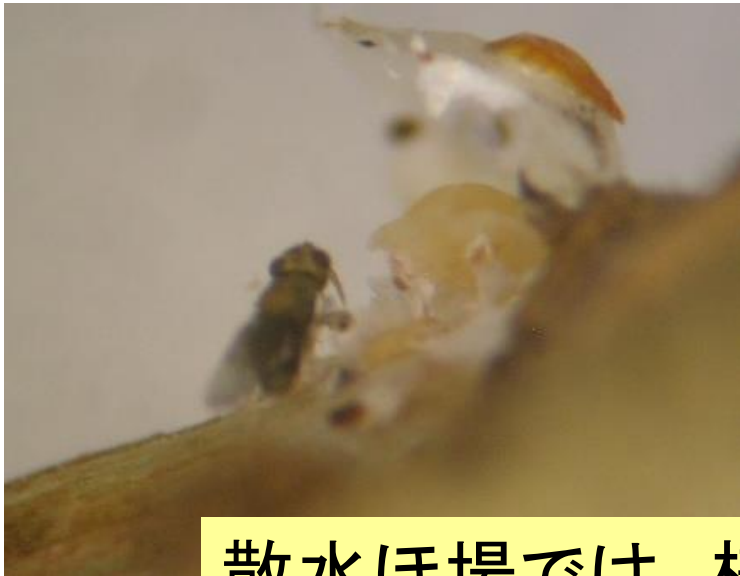
## 実証結果② 散水方法

昼間散水 $\geq$ 夜間散水  
7日散水=10日間散水



注) 経済的被害は雄繭発生程度2以上

# 天敵の定着



散水ほ場では、様々な天敵が発生・定着



# 散水防除体系の普及

農業普及課（コーディネート）

I P M研究会

土地改良区

各関係機関

散水ルール策定

- 1 散水時期・水量の遵守
- 2 土地改良区への利用申請
- 3 散水茶園への旗の設置 等

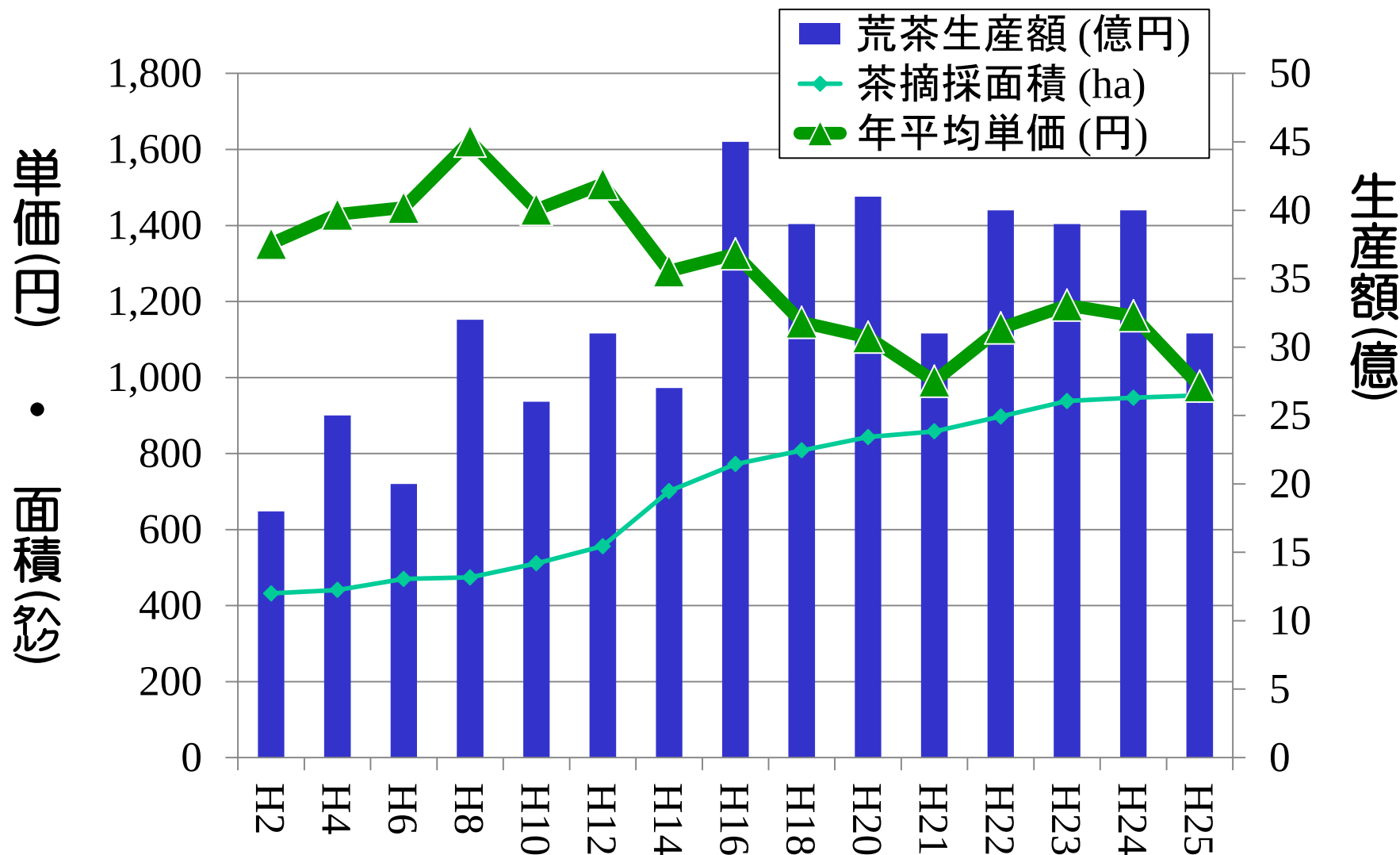
成果

- ・ 節水防除
- ・ 短期間に約6割へ
- ・ 化学農薬の削減
- ・ 天敵温存

地域への波及

豊後南部土地改良区

# 市場単価，生産額の低迷（有明町）





# 輸出への挑戦



# 米国輸出で使用可能な薬剤（17剤）

虫

## <天敵にやさしい農薬>

・IGR剤，微生物農薬など 7剤

## <天敵への非選択性農薬>

・ピレスロイド剤 2剤

・ネオニコチノイド剤 4剤

・その他 3剤

菌

・銅水和剤（予防剤）のみ

注）農水HP参照，H25/12/31現在の残留基準値1ppm以上。  
天敵への選択性は鹿児島県IPM実践指標を参照。

課題1) 天敵に優しい農薬が少ない。ウンカに効く剤なし。  
2) 病気に対する治療剤がない。

# 研究会の輸出生産体系

## <耐病性品種 ゆたかみどりの活用>

- 早生品種, 325ha(町内面積1 / 3)
- 炭そ病などに強い, 樹勢でウンカ軽減



## <散水防除>

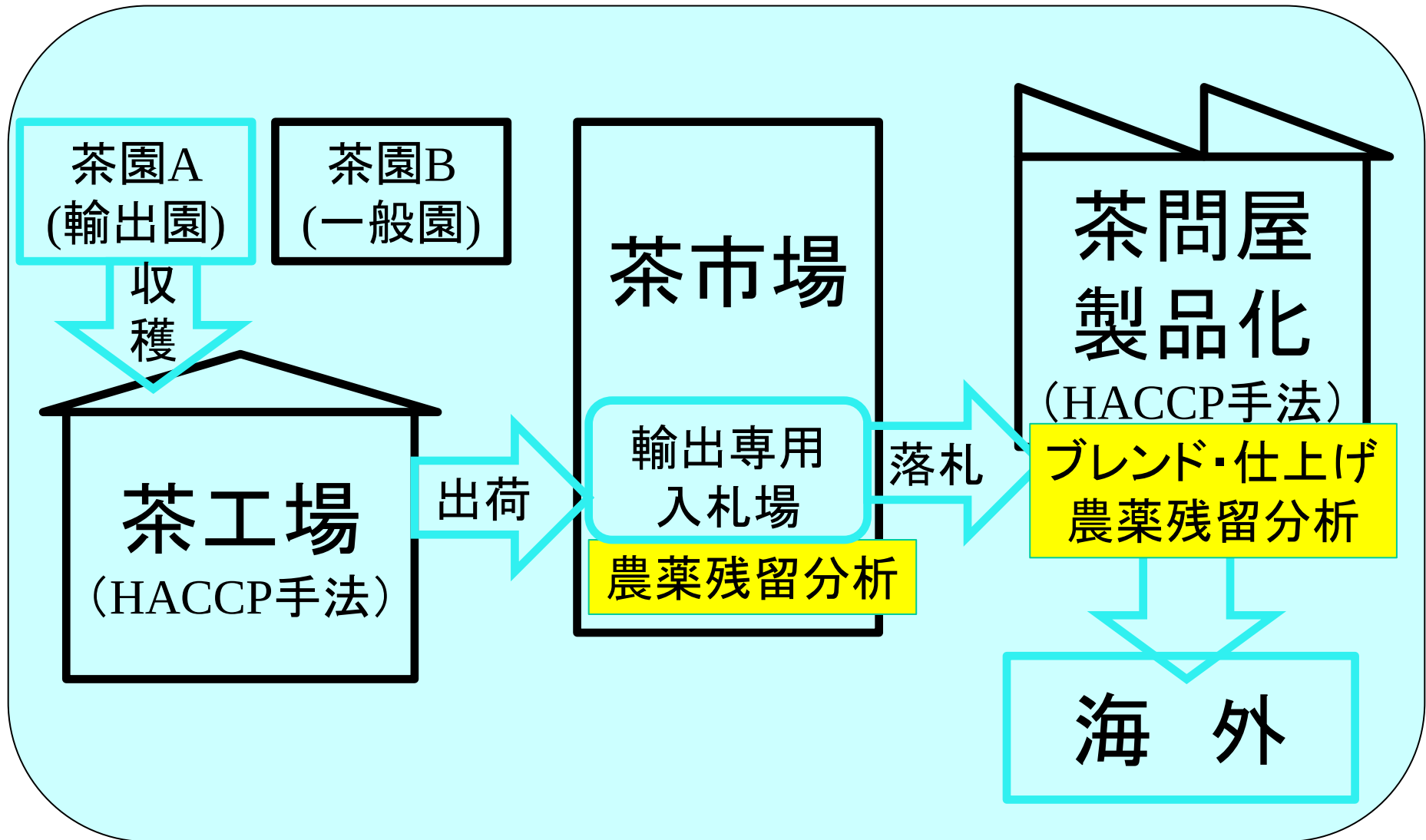
- クワシロカイガラムシ (ダニ類)



## <天敵に優しい薬剤による防除>

- ハマキ→ハマキ天敵
- ホソガ→サムコルフ, BT

# かごしま茶輸出サプライチェーン





## 課題① 農薬

- 選択性農薬のEU, USAでの早期登録  
ウンカ → ウララDF, コルト顆粒水和剤  
炭疽病 → インダー, オンリーワンF など
- JAS有機資材（別表2）の  
EU, USA有機資材との整合性  
ハマキ天敵 など
- 農薬残留基準値の統一化（CODEX設定）

## 課題② 日本茶のPR

### <淹れ方>

- ・ 茶の量，湯の温度，浸出時間  
旨み，渋みの淹れ分け など

### <嗜好>

- ・ 深蒸しは嫌われる（粉→ほこり） など

### <環境・習慣・販売>

- ・ 水質の違い（硬水に合うもの）
- ・ 緑茶を飲む習慣の定着
- ・ 中国緑茶との差別化 など

# 新たな取り組み

- 病害虫に弱い「やぶきた」などでの輸出  
散水技術確立（他の害虫）  
高圧水風機（ウンカなど）  
吸引機（炭疽病斑など）
- 有機JAS取得
- 茶販売専門店への契約出荷  
実需者ニーズに応じた製品づくり
- 食品安全システムなどの取得



高圧水風



吸引機ブラシ